



令和2年、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、わが国にも大きな混乱をもたらしました。感染を避けるためにソーシャルディスタンスが推奨され、オンライン化が進み、社会システムが大きく変わりつつあります。ウィズコロナ、さらにはポストコロナの時代をどう生きていくべきか、様々な分野の専門家が知恵を出し合っていく必要があります。本報告会では、インド古典文献や仏教文献の記述に着目しつつ、コロナ時代の生き方について学際的な議論を、オンライン形式で行います。

2020年12月6日(日) 14:30~17:30

オンライン開催 (お申込みいただいた方にZoom参加のURLをご通知します)

定員: 100名 (申込みによる先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加費: 無料

14:30~14:35 センター長挨拶

河合 俊雄 (京都大学こころの未来研究センター長・教授)

14:35~14:40 来賓ご挨拶

14:40~15:00 上廣倫理財団寄付研究部門の取組紹介 および 研究報告①

広井 良典 (京都大学こころの未来研究センター副センター長・教授・上廣倫理財団寄付研究部門兼任)

15:00~15:15 研究報告② 清家 理 (上廣倫理財団寄付研究部門・特定講師)

15:15~15:30 研究報告③ 畑中千紘 (上廣倫理財団寄付研究部門・特定講師)

15:30~15:40 休憩

15:40~16:35 パネルディスカッション

イントロダクション「**仏教にみるコロナ時代の生き方**」

熊谷 誠慈 (上廣倫理財団寄付研究部門長・准教授)

話題提供①「**時代の転換期: インドの循環的宇宙論を中心に**」

手嶋 英貴 (京都文教大学総合社会学部・教授)

話題提供②「**疫病とブッダーインド仏教における防護聖典と呪文効能定型句**」

菊谷 龍太 (京都大学白眉センター・特定准教授)

16:35~16:45 休憩

16:45~17:25 全体討論

指定討論者 広井 良典

指定討論者 亀山 隆彦 (京都大学こころの未来研究センター・研究員)

モデレーター 熊谷 誠慈

17:25~17:30 閉会

本報告会は「Zoom」を用いたオンライン配信で開催します。下記のお申込み先 URL からご登録いただいた方に、Zoom 参加の URL をお送りいたします。

【お申込み受付期間】 2020年12月3日(木) 17:00 迄

【お問い合わせ先】 京都大学こころの未来研究センター リエゾンオフィス (平日 9:00~17:00) E-mail: kokoro-uh@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

【オンライン (Zoom) 参加にあたって】

- Zoomでの動画視聴が可能な方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- WEB会議システム Zoom を使用してライブ配信します。
- ご参加いただくには、インターネット接続環境があるパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。
- スマートフォン、タブレット等でご参加される場合は事前に Zoom アプリのダウンロードが必要です。
- インターネット回線を利用した通信のためインターネット接続料が発生します。Wi-Fi 環境以外での参加にあたっては、通信料にご注意ください。
- お申込みにあたっては、事前に <http://zoom.us/test> から Zoom への接続性を確認するテストをお勧めします。

仏教から考える コロナ時代の生き方

京都大学こころの未来研究センター
上廣倫理財団寄付研究部門 2020年度研究報告会

お申込みはこちらから

<https://forms.gle/4W1YvgJkqwcXjH88>

